



ハイライト

- 第 1 回地域の世話役養成塾の様子。今年度は既卒者のフォローアップ講座も。
- 7 月の大阪移住イベントの詳細レポート！新しいセミナー形式を採用。

目次

- 第 1 回地域の世話役養成塾を開講！
…1
- 【6月9日、10日、11日 in 東京】移住フェア、移住セミナーレポート
～ 参加自治体：沖縄県・国頭村・東村・石垣市・竹富町・久米島町・渡名喜村 ～
…2

第 1 回地域の世話役養成塾を開講！

ゲスト講師による移住取組例の紹介/ 実践的ワークショップ / 昨年度の既卒者のフォローアップ講座も実施



県内市町村から大勢の参加者が集まりました！

7月21日(木)、22日(金)に北部・南部会場2か所にて、第1回地域の世話役養成塾を開講しました。この世話役養成塾は、第4回まで開講予定であり、受講者が今後市町村に於いて移住を希望する人・既に移住した人のサポートや、地域の人々との間を円滑に繋ぐ役割を担う上で、昨今の国内移住の動向や他自治体の例、そして自分の地域で実践できる世話役のノウハウを講座とワークショップという形で学びます。

第1回養成塾の講義前半は、徳島県佐那河内村で5年に渡り移住取組事業を行ってきた村職員の安富圭司氏を迎えました。安富氏がこれまで取組んできた、空き家調査、持ち主からの借入交渉、そして移住者受入までの具体的な内容は大変参考になると思われました。後半では、認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター副事務局長の嵩 和雄氏による講義が行われ、受講者の方には国内の移住動向を知り、また個々の地域での将来像を意識することの必要性を感じて頂けたと思います。

ワークショップでは移住者受入れに係る課題等を洗い出し、グループ毎に発表することで、課題の共有や解決方法を模索する作業を行いました。

また今年度は、昨年度養成塾を受講した「既卒者」の方へのフォローアップ講座も開講されました。今回の第1回目では、認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター副事務局長の嵩 和雄氏による地域の中で世話役として活動し、業務をスムーズにすすめていく為に、地域の中でのステークホルダーを割り出しながら、どのように働きかけていくべきかについて考える講座やグループワークを行いました。実際に地域の世話役として活動する中での課題の共有や解決のヒントを得るきっかけになって頂けたと思います。



既卒者フォローアップ講座の様子

今後の予定

【移住フェア】

- 9月10日(日)
ふるさと回帰フェア(東京)
- 11月12日(日)(予定)
九州・山口結婚応援ライフデザインセミナー・交流会(東京)

【沖縄移住セミナー(移住相談会)】

- 9月8日(金)
- 9月9日(土)
- 10月9日(月)
(東京)
- 11月5日(日)(予定)
(大阪)

【地域の世話役養成塾】

- 第2回講座開講
8月21日(月)南部会場
8月22日(火)北部会場

【6月9日、10日、11日 in 東京】移住フェア、移住セミナーレポート

～ 参加自治体：沖縄県・国頭村・東村・石垣市・竹富町・久米島町・渡名喜村 ～

全国から約 200 地域が出展！ 「おいでや！いなか暮らしフェア 2017」



写真左) OMMビル外観

写真下) 沖縄県ブース移住相談の様子

大阪移住イベントの1日目は、ふるさと回帰支援センター主催の大規模移住フェアへの出展でした。会場は、大阪城近く、天満橋 OMMビル内で、出展団体は北海道から沖縄まで約 200！当日の来場者数は全体で 1904 組 3259 名とのことでした。沖縄は県のみでの1ブース出展でしたが、開場の 11 時から夕方 18 時まで、途切れることなく沖縄県ブースへ相談者のご来場がありました。

相談者の方の中には、石垣市や国頭村など、移住希望の地域を絞って来られる方も多く、該当市町村が出展する翌日の移住セミナーへの参加を促すよう努めました。また、具体的な移住先や移住プランをお持ちの方には、情報収集や下見等次の具体的なステップへ進めるよう、後日市町村へつなぐような対応をしました。また、今回は翌日の参加市町村担当者にじっくりと移住フェア内を見学してもらい、他自治体の移住取組等情報収集をして頂く時間も取れた点が良かったと思います。



初めての【大阪】県単独セミナー開催も 大盛況！新しいセミナー形式を採用

大阪2日目は、1日目と同じビル内の OMMビル会議室にて県主催移住セミナーを実施しました。出展は沖縄県と、国頭村、東村、石垣市、竹富町、久米島町、渡名喜村の6市町村でした。

今回のセミナーでは、やんばるから離島まで、沖縄の特色ある地域各所の「暮らし」を多くの方に知って頂くこと、そして市町村と来場者とのより多くの交流を第一の目標としており、その為に同時並行2ステージでのプレゼンテーションや、複数回の座談会など、全体の進行に新しい試みを行いました。

持ち時間は各5分！短時間で地域の魅力を発表！

プレゼンテーションは各市町村5分ずつ。6市町村の担当者には、地域の「移住者紹介」や「住まい」「仕事」「遊ぶところ」など共通のテーマで事前にプレゼン資料を作成してもらい、5分という短時間での凝縮されたPRを行っていただきました。どのプレゼンも大変わかりやすく、地域の魅力が詰まっていて、各担当者の

熱意が、来場者の方々に伝わったのではと思います。

しかし、企画・運営側としては出展自治体に行くべき事前の説明不足や時間管理、リハーサル時間をもっと取っておくべきだったなど、反省や今後の課題を痛感しました。プレゼン自体の時間の短かさを指摘される声も参加市町村からあり、様々な意見・提案を今後に生かしたいと思います。

また今回作成頂いた資料が大変充実した内容であるため、今後印刷して冊子とし、移住相談やふるさと回帰支援センターでの閲覧用など、各所で活用させて頂きたいと思えます。



プレゼン資料を元に作成された移住資料



各市町村の座談会の様子

複数回の座談会で、 より多くの交流を！

続いての自治体ごとの座談会では、来場者に1回目、2回目と自治体を変えて参加して頂きました。先に行われたプレゼンで初めて知った村に興味を持ち、座談会へ参加された方も多かったです。「買い物はどうしているの？」「ガソリン料金はいくら？」「沖縄の湿気はどのくらい？」といった質問と回答を共有できたことが良かったです。

新たな市町村との出会いや情報を得る機会になったという嬉しいお声も来場者様から頂きました。また、参加市町村からも座談会が複数回あることにより、より多くの来場者と話しが出来てよかったという感想も頂きました。

一方で座談会では発言機会を偏りなく参加者に持たせる配慮が必要なこと、その後の個別相談へ繋げることの難しさがありました。個別相談でじっくり一人ひとりの相談者とお話して、今後も相談対応・地域への下見などへ繋げたかった、という市町村からの意見もありました。

大阪移住セミナーを振り返って

初めてのセミナー構成であり、進行や来場者整理などに苦慮することもありましたが、大きな混乱なく実施できたこと、また来場者・参加市町村両方から後日良かった点、悪かった点等のご意見やご感想を頂いたことは、大変参考になりました。来場者からはより「育児」「仕事」などテーマに沿った具体的な市町村の取組や助成などを知りたかった、人気ある自治体の個別相談を受けられなかったというご意見、ご不満もありました。参加市町村からも、改善案をもらうなど、頂いたご意見を再度振り返り、次回以降の移住セミナーへ活かしたいと思えます。